

社会資本総合整備計画

にゅうぜんまち 入善町 さいがい における つよ 災害に強く あんぜん 安全に く 暮らせるまちづくり

とやまけん 富山県 にゅうぜんまち 入善町

平成30年 2月

(参考様式2) 社会資本総合整備計画

平成30年2月15日

計画の名称	1 入善町における災害に強く安全に暮らせるまちづくり							変更回数	4 重点配分対象の該当																									
計画の期間	平成25年度 ~ 平成29年度 (5年間)					交付対象	入善町																											
計画の目標	<p>入善町は、富山県東部に位置する北アルプスを背景に日本海へと流れ出る黒部川が育む典型的な扇状地を形成する町であり、その歴史は、水との戦いであり黒部川の治山・治水政策により防災意識の向上に努めてきた。また、本町の海岸は富山湾特有の「寄り回り波」と冬期風浪により、高波・津波等が発生すると海岸地域を中心に大きな被害となり、平成20年2月24日においても甚大な被害を受けた経緯がある。</p> <p>大規模化・広域化する自然災害に対応するため、町域全体の防災拠点となる「防災センター」や耐震性・緊急時の避難所機能を有した地域拠点「防災コミュニティセンター」などのハード整備を計画的に実施するとともに、防災マップの作成や自主防災組織の細分化、防災訓練の強化等のソフト事業を充実し、効果的に展開することによって、地域防災体制の強化を図り、災害に強く安全に暮らせるまちづくりを行う。</p>																																	
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 町全域における地区防災拠点施設の耐震化率を、70% (H24) から100%に増加 自主防災組織における防災士の人数を、0人 (H24) から5人に増加 備蓄することができる生活必需品等の量を、4,100人分 (H24) から6,100人分に増加 																																	
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H25当初)</th> <th>中間目標値 (H27末)</th> <th>最終目標値 (H29末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地区防災拠点施設の耐震化率の増加 (耐震化施設数/地区防災拠点施設数) 【単位：%】</td> <td>70%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域における防災リーダーの養成 (防災士の人数) 【単位：人】</td> <td>0人</td> <td>3人</td> <td>5人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>防災用備蓄品保管スペースの増加 (防災備蓄倉庫の有効面積/避難者一人当たりの備蓄品を保管するために必要な面積) 【単位：人分】</td> <td>4,100人分</td> <td>6,100人分</td> <td>6,100人分</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)	地区防災拠点施設の耐震化率の増加 (耐震化施設数/地区防災拠点施設数) 【単位：%】	70%	100%	100%		地域における防災リーダーの養成 (防災士の人数) 【単位：人】	0人	3人	5人		防災用備蓄品保管スペースの増加 (防災備蓄倉庫の有効面積/避難者一人当たりの備蓄品を保管するために必要な面積) 【単位：人分】	4,100人分	6,100人分	6,100人分	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																														
	当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)																															
地区防災拠点施設の耐震化率の増加 (耐震化施設数/地区防災拠点施設数) 【単位：%】	70%	100%	100%																															
地域における防災リーダーの養成 (防災士の人数) 【単位：人】	0人	3人	5人																															
防災用備蓄品保管スペースの増加 (防災備蓄倉庫の有効面積/避難者一人当たりの備蓄品を保管するために必要な面積) 【単位：人分】	4,100人分	6,100人分	6,100人分																															
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,506.0百万円	A	1,454.6百万円	B	0.0百万円	C	51.4百万円	D	0.0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	3.4%																						
交付対象事業																																		
A 基幹事業																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考																	
									H25	H26	H27	H28	H29																					
1-A-1	防災	一般	入善町	直接	入善町	都市防災総合推進事業	消防防災センター (仮称) 整備事業: A=950㎡ 防災コミュニティセンター (飯野地区) 整備事業: A=1,400㎡ 防災コミュニティセンター (横山地区) 整備事業: A=800㎡ 下上野公園整備事業: 広場 A=1,800㎡、駐車場 A=500㎡ 下上野公園線整備事業: L=170m、W=6.0m	入善町						1,454.6		-																		
合計												1,454.6																						
B 関連社会資本整備事業																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考																	
									H25	H26	H27	H28	H29																					
合計												0																						
C 効果促進事業																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考																			
									H25	H26	H27	H28	H29																					
1-C-1	防災	一般	入善町	直接	入善町	消防防災センター (仮称) 整備事業	用地購入: A=490㎡、物件補償	入善町					4.5																					
1-C-2	防災	一般	入善町	直接	入善町	防災マップ作成事業	各種防災マップ作成	入善町					0.6																					
1-C-3	防災	一般	入善町	直接	入善町	防災士養成事業	防災士養成研修	入善町					0.4																					
1-C-4	防災	一般	入善町	直接	入善町	消防防災センター (仮称) 整備事業	防災センター展示設備工事	入善町					44.5																					
1-C-5	防災	一般	入善町	直接	入善町	防災講演会開催事業	防災講演会開催	入善町					0.3																					
1-C-6	防災	一般	入善町	直接	入善町	総合防災訓練実施事業	防災訓練実施	入善町					1.1																					
合計												51.4																						
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																						
1-C-1	1-A-1の実施にあたり、整備予定地である既存町有地は不整形であるため、施設等の配置や沿線となる国道との連絡に支障をきたす。一部隣接する用地を購入し、用地を整形することで、効果的な施設配置を実現し、連絡利便性の向上を図るとともに、緊急時の施設利用上の支障を解消する。																																	
1-C-2	防災マップを作成・配布することにより、災害時の避難所や避難経路を把握を促すとともに、日常からの防災意識の高揚を図ることで被害の軽減を図る。																																	
1-C-3	地域における防災リーダーを養成することにより、災害時の円滑な避難活動を促進するとともに、訓練・研修機会を充実させることで被害の軽減を図る。																																	
1-C-4	1-A-1の実施にあたり、ロビーやホールスペースを活用し、災害に関する映像やパネル等の展示物を整備することで、住民の日頃からの防災教育の促進や防災意識の向上を図る。																																	
1-C-5	消防防災センターにおいて、講演会を開催することで、住民の日頃からの防災意識の向上を図るとともに、防災教育推進の拠点としての位置づけを確立する。																																	
1-C-6	町内全域を対象とした防災訓練を実施することで、町の防災拠点である消防防災センターと各地区避難所等との非常時における連絡・誘導体制の確認・強化を図る。																																	
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考																			
									H25	H26	H27	H28	H29																					
合計												0																						

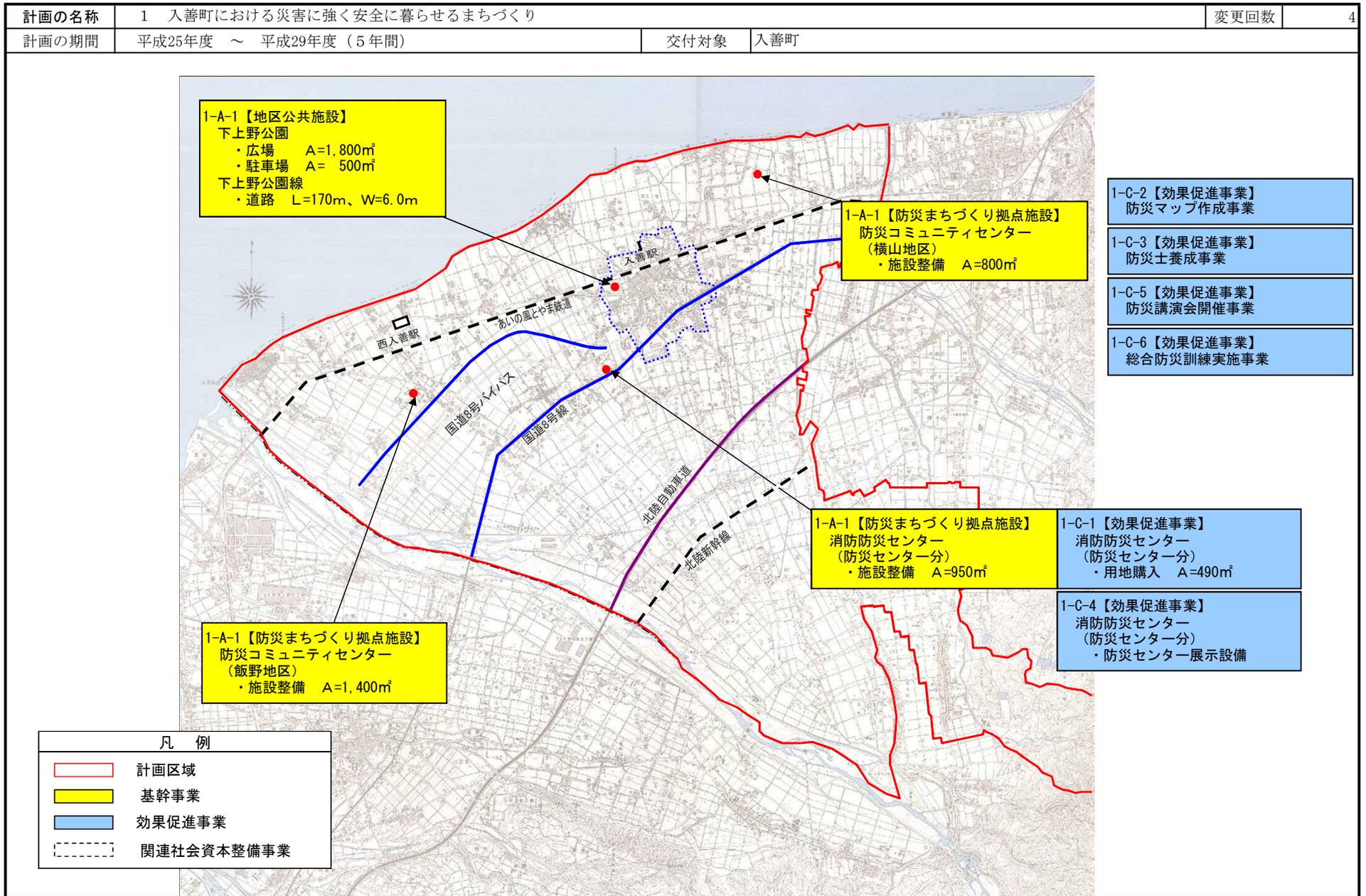
交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H25	H26	H27	H28	H29
配分額 (a)	205.8	360.5	105.6	0.0	
計画別流用 増△減額 (b)	0.0	0.0	0.0	0.0	
交付額 (c=a+b)	205.8	360.5	105.6	0.0	
前年度からの繰越額 (d)	0.0	170.0	0.0	92.3	
支払済額 (e)	35.8	530.5	13.3	92.3	
翌年度繰越額 (f)	170.0	0.0	92.3	0.0	
うち未契約繰越額 (g)	8.0	0.0	92.3	0.0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0.0	0.0	0.0	0.0	
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	3.9%	0.0%	87.4%	0.0%	
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由			計画に関する諸条件 (建物の配置)に係る調整に不測の日数を要したため		

※ 平成25年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考図面)



都市防災事業計画(第4回変更)

とやまけん にゅうぜんまち
富山県 入善町

平成30年 2月

(様式1) 整備方針等
整備方針等

【防災まちづくりの現状及び課題】

本町の災害に関する特徴として、冬季風浪による高波災害がある。海岸は、全国的にも類を見ない急深な海底勾配を有しているとともに、複雑な海底谷が入り組んでいることから、富山湾特有の「寄り回り波」という、うねり性の大きい波による災害が発生する。

このような中、平成20年2月24日の冬季風浪によって被災し、海岸の背後地にある集落(約370戸)には高波が押し寄せ、死者1名、負傷者15名、家屋等全半壊64棟、床上浸水117戸、床下浸水128戸という甚大な被害を受けた。

これらの経緯から、本町では総合計画において「快適に安心して暮らせるまちづくり」を6つのまちづくりの目標のひとつに位置付け、防災・危機管理の充実・強化を図っている。町内全地区においては、自主防災会が組織化されており、地域特性(市街地、海岸部、山間部等)や実情(高齢化率等)に応じて独自の組織運営を行い、自助・共助による減災意識の醸成と地域防災力の強化に努めている。

課題① 防災センターの整備

本町の中心市街地は、最も人口が集中する地域であるとともに、行政サービス施設(町役場、消防署、町民会館、体育館、グラウンド等)や道路等の交通網などのインフラ整備についても集積されている。

この区域は地理的にも町のほぼ中央部に位置していることから、災害発生時には災害及び復旧対応の拠点区域となるため、災害対策本部としての機能を有し、住民の防災・減災活動の拠点となる「防災センター」の整備が必要である。

また、市街地における一時避難地としての機能を有する公園施設の整備も必要とされる。

課題② 地域の防災拠点強化

既存施設の老朽化や耐震上の問題等により、災害時の防災拠点施設としての機能が確保されていない。特に避難所となるコミュニティ施設においては、災害時要援護者をはじめとする避難者の収容体制の強化が必要不可欠であり、地震や高波等の自然災害に対応するための機能整備が急務となっている。

また、地域防災力の強化には、地域住民の意識の向上や人材の確保が必要である。

課題③ 災害時支援体制の確保

現在、町内企業等の協定に基づく流通備蓄による救援物資の供給や、介護施設との協定による要援護者の収容場所の確保により対応している。

救援物資等が供給されるまでの期間、各地域の避難所等となるコミュニティ施設や隣接する防災倉庫への備蓄品の保管や、その中核的役割を果たす防災センターにおいても一定量の備蓄品を確保し、災害時の被災者支援体制を構築する必要がある。

【整備方針】

- ① 災害発生時において、対策本部の機能を有する防災センターを整備する。
防災センターを拠点として、災害に備えた教育や訓練等を充実させ、住民の減災意識の向上を図る。
- ② 地域防災力の強化のため、災害時の地域防災拠点として、コミュニティ施設の耐震化と機能の充実を図る。
減災意識の向上を図るため、防災士や防災アドバイザー等の人材を確保するとともに、研修や教育、訓練等の計画的な実施を促進する。
- ③ 災害に対応するための資機材及び備蓄品等について、計画的な充実を図る。
地震や高波、洪水など、様々な災害に対応した防災マップを作成する。

⇒自助・共助・公助を組み合わせ、地域の特性や実情に応じた防災体制の確立を目指す。

(様式2) 計画事業一覧

計画事業一覧

都道府県名	富山県	市町村名	入善町	計画期間	平成25年度～平成29年度
担当部局名	部(局) 企画財政課 企画政策係	担当者	(正) 南保 賢史郎 (副) (副)	連絡先	T E L : 0765-72-2871 F A X : 0765-74-0067 E-mail : kikaku@town.nyuzen.lg.jp

事業区分	事業主体	事業地区名	地区面積 (ha)	都市防災総合推進事業 における事業期間		補助率	補助事業費(予定)額		
				開始年度	終了年度		(参考)事業費	(参考)国費	
災害危険度 判定調査						1/3			
住民等まちづくり 活動支援						1/3			
地区公共 施設等整備	事業計画					1/2			
	都市施設 (公園・緑地)					1/2 用地1/3			
	地区公共	入善町	入善地区 (下上野公園)	235	H26	H28	1/2 用地1/3	69.2 2.7	34.6 0.9
		入善町	入善地区 (下上野公園線)	235	H27	H28	1/2 用地1/3	42.7	21.3
	防災まちづくり拠点 (直接)	入善町	入善地区 (消防防災センター)	7,129	H25	H25	1/2	391.4	195.7
		入善町	入善地区 (防災コミュニティセンター(飯野地区))	1,314	H25	H29	1/2	629.2	314.6
		入善町	入善地区 (防災コミュニティセンター(横山地区))	476	H25	H26	1/2	319.4	159.7
	防災まちづくり拠点 (間接)					1/3			
防災情報通信ネットワーク (特例)					1/2				
都市防災 不燃化促進	不燃化 促進調査					1/3			
	不燃化 促進					1/2			

事業区分	事業主体	事業地区名	地区面積 (ha)	都市防災総合推進事業 における事業期間		補助率	補助事業費（予定）額	
				開始年度	終了年度		（参考）事業費	（参考）国費
密集市街地緊急リノベーション事業						1/2		
復興 まちづくり 総合支援事業	復興まちづくり 計画策定支援					1/2		
	復興に向けた公共 施設等整備（防災）					1/2		
	復興に向けた公共 施設等整備（活力）					1/2 (景観地区等 1/3)		
	復興まちづくり 施設整備助成					1/3		
合計							1,454.6	726.8

(様式3) 関連事業 [都市防災上の課題解決に関連する事業]

事業区分	事業主体	事業地区名	事業規模(面積、延長、幅員等)	総事業費 (国費ベース)	事業期間		事業実施状況	重点密集 市街地の有無
					開始年度	終了年度		
街路事業								無
都市公園事業								
市街地再開発事業								
土地区画整理事業								
その他(単独事業等)	入善町	上原地区	【町単独】 町道川原田線 L=260m、W=9.5m		H26	H27	都市防災事業の基幹事業である消防防災センターへの搬入・搬出の効率化を図るため、隣接する町道を改修整備する。	無
その他(単独事業等)	入善町	入膳地区	【緊急防災・減災事業(起債)】 デジタル防災行政無線整備: 1式		H24	H25	電波法の改正に伴い、防災行政無線(同報系、移動系)のデジタル対応を図る。	無
その他(単独事業等)	入善町	舟見地区	【消防防災施設整備事業(国)】 耐震性防火水槽整備: 1基		H25	H25	初期消防体制の強化を図るとともに、震災時の施設の強度を確保するため耐震性防火水槽を整備する。	無
その他(単独事業等)	入善町	横山地区	【消防防災施設整備事業(国)】 耐震性防火水槽整備: 1基		H25	H25	初期消防体制の強化を図るとともに、震災時の施設の強度を確保するため耐震性防火水槽を整備する。	無
その他(単独事業等)	入善町	上原地区	【緊急防災・減災事業(起債)】 消防防災センター(消防署分)		H25	H25	都市防災事業の基幹事業である消防防災センター(防災センター分)との合築により実施。	無
その他(単独事業等)	入善町	全域	【町単独】 防災備蓄品整備事業: 毛布等購入		H24	H29	緊急時の備蓄品を計画的に購入し、各地区防災備蓄倉庫及び防災センター等に確保する。	無

注) 総事業費について百万円単位。

注) 地域防災計画、地震対策緊急事業五箇年計画等を参照し、関連部局と調整の上作成。

(様式4) 年度別事業計画1【参考】

【百万円単位】

事業区分	事業主体	事業地区名	整備内容	重点密集市街地	補助率	補助事業費(予定)額 [国費ベース]								
						平成24年度以前	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度以降	計	
災害危険度判定調査					1/3									0.0
住民等まちづくり活動支援					1/3									0.0
地区公共施設等整備	事業計画				1/2									0.0
	都市施設(公園・緑地)				1/2 用地1/3									0.0
	地区公共	入善町	入善地区	下上野公園 広場A=1,800㎡ 駐車場A=500㎡		1/2 用地1/3		4.3		30.3				34.6
		入善町	入善地区	下上野公園線 L=170m W=6.0m		1/2 用地1/3				21.3				21.3
	防災まちづくり拠点(直接)	入善町	入善地区	消防防災センター A=950㎡		1/2		195.7						195.7
		入善町	入善地区	防災コミュニティセンター(飯野地区) A=1,400㎡		1/2		13.1	235.8	55.9		9.8		314.6
		入善町	入善地区	防災コミュニティセンター(横山地区) A=800㎡		1/2		6.9	152.8					159.7
	防災まちづくり拠点(間接)				1/3									0.0
	防災情報通信ネットワーク(特例)				1/2									0.0
都市防災不燃化促進	不燃化促進調査				1/3									0.0
	不燃化促進				1/2									0.0
密集市街地緊急リノベーション事業					1/2								0.0	
復興まちづくり総合支援事業	復興まちづくり計画策定支援				1/2									0.0
	復興に向けた公共施設等整備(防災)				1/2									0.0
	復興に向けた公共施設等整備(活力)				1/2 (景観地区等1/3)									0.0
	復興まちづくり施設整備助成				1/3									0.0
合計						0.0	220.0	389.5	107.5	0.0	9.8	0.0	726.8	

(様式6) 現況図



(様式6) 事業計画概要図

